

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	原子力安全に関する国際会議開催経費	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院国際室 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者	坂内 俊洋
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成24年度	担当課室			
会計区分	東日本大震災復興特別会計	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	2011年G8ドーヴィルサミット菅総理演説 他		
事業の目的	事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) 我が国に於いてIAEAと共催で原子力安全に関する国際会議を行う。我が国としては、本会議を通じて福島原発事故後の安全対策の取組や事故からの復興状況等について報告を行い、IAEAや我が国を含む加盟国の原子力安全に対する信頼回復を目指す。				
事業の概要	事業概要 (5行程度以内。別添可) IAEAは東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、今後の安全面での取組を行動計画として取りまとめたが、本会議ではその進捗状況などが報告・議論されることが見込まれる。IAEAの安全面の見直しのきっかけとなった事故当事国としては、我が国の原子力安全向上の取組や、原発事故から派生した諸問題等への対応を紹介し、事故後の復興状況について国内外へ報告することが重要である。これらを通じ、IAEAや我が国を含むIAEA加盟国の原子力安全に対する信頼回復を目指す。 ※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	-	-	172	-
		補正予算	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-
		計	-	-	-	172
	執行額	-	-	-	-	-
執行率 (%)						

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	我が国の原発事故への取組及びIAEA原子力安全強化の取組を国際社会と共有し、原子力安全に対する国内外の信頼回復を目指す。	成果実績				
	達成度	%				

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	IAEA加盟国及び国際機関等からの参加者、マスコミ関係者等、約千名規模の参加を予定。	活動実績 (当初見込み)				-
			()	()	()	()

単位当たりコスト	(円 /)	算出根拠	
----------	--------	------	--

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	職員旅費	10		
	庁費	162		
	計	172百万円	0百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の安全規制の見直しや東京電力福島第一原発事故後の取組等を国内外に示すことは、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	我が国とIAEAが共催で行う「IAEA福島閣僚会議」の開催費用及び当該開催に係る職員旅費のみを計上している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国の安全規制の見直しや東京電力福島第一原発事故後の取組等を国内外に示すことは、政府が行うべきことであり、原子力安全向上に向け、151の加盟国をもつIAEAの枠組みを活用することが、効率的かつ効果的である。		
予算監視・効率化チームの所見			
		平成24年度限りの事業であり、効率的・効果的な事業執行に努めること。アウトプットについては、出席者数だけでなく、出席者の満足度なども指標とすべきではないか。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		事業の実施に当たっては、効率的・効果的な執行に努める。また、アウトプットについては、別の指標を取り入れるなど、会議がより効果的なものになるよう努める。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	43